

## 安城南LC 車椅子110台を寄贈



感謝状が贈呈されました

### 結成50周年で市社協に

安城南ライオンズクラブ(杉浦弘昌会長)は10月4日、市社会福祉協議会(神谷明文会長)を訪れ、大人用車椅子100台と子ども用10台を寄贈しました。

長ら7人が訪問しました。同協議会には現在、市民への貸し出し用の

車椅子が120台ありますが、古くなったものや破損したものの、高齢者にとっては重量が重いものが目立ってきただいいいます。地域の高齢化が進み車椅子の必要性が高まる中、現状稼働可能な80台では市民の要望に応えることができないことから、軽量で利用しやすい新車種を寄贈することを決めました。

同クラブは1967年、安城ライオンズクラブをスポンサーに結成されました。献血・献腎・献眼活動をはじめ、清掃活動や社会福祉施設でのボランティアなど、地域に根差した活動を続けています。杉浦会長は「今回の車椅子の贈呈は、クラブの資金と、ライオンズクラブ国際財団の一般交付金を活用して行いました。必要とされる市民に随時貸し出さるべき、福祉サービスの向上につながれば」と話しました。

同協議会では市内8カ所の福祉センターで車椅子の無償貸与を行っており、全体で約200台は必要といえます。また、これまで子ども用の車椅子は1台もなく、対応に頭を痛めていました。今回の寄贈に対し、神谷会長から同クラブに感謝状が贈られました。

クラブ結成50周年を記念し、地域貢献の奉仕活動として寄贈したもので、杉浦会長と榊原守記念事業実行委員